



J3AER



*** アマチュア無線の切手の初日カバー (その1) ***

J3AER 荒川泰蔵



1. テーマティック関西切手展に「アマチュア無線の世界」の切手作品を出展。

2017年12月2日からの週末2日間、大阪駅前第2ビル5階にある、大阪市立総合生涯学習センターで開かれた、「第1回 テーマティック関西切手展」に、「アマチュア無線の世界」と題した2フレーム・32リーフの郵趣作品を出展しました。

この切手展は一昨年に結成された「関西テーマティック郵趣愛好者の会」が主催したもので、筆者も創立時からメンバーとして参加し、アマチュア無線の切手のコレクションを、いかにテーマティック作品に仕上げるか勉強しています。

アマチュア無線の切手は早くから蒐集してきましたが、これらを年代順、国別、発行目的別などに分類する「トピカル」作品ではなく、「テーマティック」作品はテーマを決めて切手や郵趣品を使いながら、ストーリーを展開するもので、テーマについての知識が必要となりますので、おのずと自分の得意分野や興味のある分野をテーマにすることになります。

今回出展した「アマチュア無線の世界」の作品は、アマチュア無線家でない一般の人達に、アマチュア無線を紹介するつもりで構成したのですが、来る 1月14日に奈良県で開かれるJARL奈良県支部主催の「CW講習会」の会場にも展示させていただく予定ですので、是非ご覧の上ご批評をお願い致します。

また、この作品に使用している初日カバー(FDC)を含め、蒐集したアマチュア無線の切手の初日カバーを、今回から3回に分けて紹介させていただきます。(写真1及び2)



写真1 (左)切手展に展示した「アマチュア無線の世界」の作品。(右)大阪市立総合生涯学習センターの看板。



写真2 (左) 関西テーマティック郵趣愛好者の会のメンバー。(右) 来場者に作品を説明する筆者。

2. ポーランド : 共産国通信閣僚会議開催記念 (1961.6.26 発行)

アマチュア無線に関係する最初の記念切手で、1961年にワルシャワで開かれた共産国通信閣僚会議を記念して発行された3種の記念切手の内、最高額面の切手(写真では右端の切手)に連盟PZKのロゴが描かれています(写真3)。



写真3 (左) ポーランドの共産国通信閣僚会議開催記念切手のFDCと、(右) その小型シートのFDC。

3. 米国 : ARRL 50年記念 (1964.12.15 発行)

米国の連盟ARRL創立50周年を記念して発行された記念切手で、初日発売局はアンカレッジでした。1964年3月2日のアラスカ大地震で、アマチュア無線家が活躍したことから、初日発売局をアンカレッジに決めたようです(写真4)。



写真4 米国の ARRL 50年記念切手のカジェの異なる FDC 2種。

4. 東ドイツ : スポーツ及び科学技術 (1972.8.8 発行)

東ドイツのスポーツ及び科学技術省にちなんで発行された5種の切手のうちの1種(写真では左側の切手)に、アマチュア無線の通信機、ヘッドホン、電鍵、モールス符号がデザインされています(写真5の左)。

5. ポーランド : IARU第1地域会議記念 (1975.4.15 発行)

1975年4月14日から18日まで、ワルシャワで開かれた IARU 第1地域会議を記念して発行された記念切手で、第1地域のヨーロッパとアフリカの地図と、右下に IARU 第1地域のロゴを配した大型の記念切手です(写真5の右)。



写真5 (左) 東ドイツのスポーツ及び科学技術切手のFDC。(右) ポーランドの IARU 第1地域会議記念切手のFDC。

6. コロンビア : LCRA 40年記念 (1973.5.10 発行)

コロンビアの連盟 LCRA 創立40周年記念に発行された記念切手で、連盟のロゴがデザインされています (写真6の左)。

7. コスタリカ : 第16回中央アメリカ・ラジオクラブ連合コンベンション記念 (1975.1.16 発行)

1975年5月2日から4日まで、コスタリカの首都サンホセで開かれた、第16回中央アメリカ・ラジオクラブ連合 (FRACAP)コンベンションを記念して3種の記念切手が発行されました (写真6の右)。



写真6 (左) コロンビアのLCRA 40年記念切手のFDC。
(右) コスタリカの第16回中央アメリカ・ラジオクラブ連合コンベンション記念切手のFDC。

8. ドミニカ共和国 : RCD 50年記念 (1976.10.8 発行)

ドミニカ共和国のアマチュア無線連盟 RCD 創立50周年を記念して、2種の記念切手が発行されました (写真7の左)。

9. 日本 : アマチュア無線 50年記念 (1977.9.24 発行)

1927年9月、草間貫吉氏に JXAX というコールサインで短波私設無線電信電話実験局が免許されたのが、日本のアマチュア無線の始まりとして、その50周年を記念した記念切手が発行されました (写真7の右)。



写真7 (左) ドミニカ共和国の RCD 50年記念切手のFDC。(右) 日本のアマチュア無線 50年記念切手の FDC。

10. ブラジル : ブラジル・アマチュア無線の日 (1977.11.5 発行)

ブラジル・アマチュア無線連盟が、1977年11月5日から11まで、リオデジャネイロで開催したアマチュア無線の日の行事を記念して発行された記念切手で、電波が広がっていく様子を表現した図案です (写真8の左)。

11. ドミニカ共和国 : ベアタ島DXペディション記念 (1979.1.25 発行)

ドミニカ共和国のアマチュア無線家達のベアタ島DXペディションを記念して発行された記念切手です。(写真8の右)。

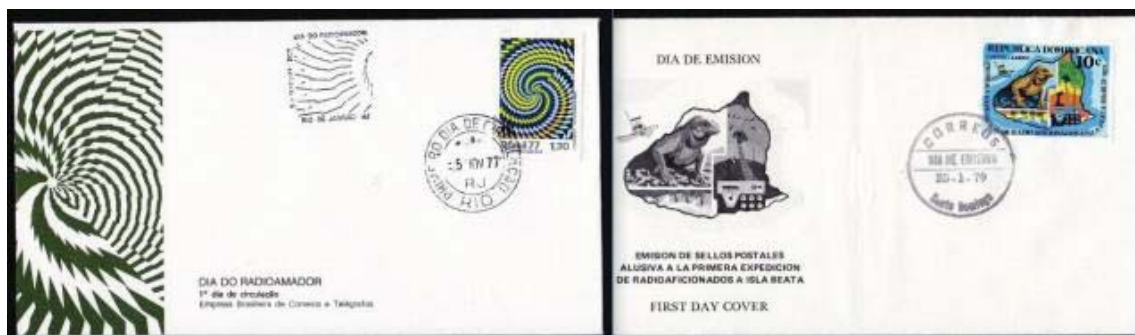


写真8 (左) ブラジルのアマチュア無線の日の切手のFDC。(右) ドミニカ国のベアタ島 DX ペディション記念切手のFDC。

次号に続く

JAZAER 荒川さん



JA3AER



*** アマチュア無線の切手の初日カバー (その2) ***

JA3AER 荒川泰蔵



1. JARL奈良県支部主催のCW実技講習会で「アマチュア無線の世界」の郵趣作品を展示。

2018年1月14日、奈良県斑鳩町の「いかるがホール」で開かれたJARL奈良県支部主催のCW講習会で、郵趣作品「アマチュア無線の世界」を展示させて頂き、その概要をスライドで説明させて頂きました。郵趣作品には、この初日カバーのシリーズ記事で紹介している初日カバーも使用しました(写真1)。



写真1 CW実技講習会の会場で「アマチュア無線の世界」の郵趣作品を展示し、概要をスライドで説明。

2. ボリビア : RCB 38周年記念 (1979.3.26 発行)

この切手はボリビアの地図の上にRCBのロゴと八木アンテナが描かれ、上部にCP0RCBのコールサインも見えます。両サイドに「奉仕のために生きていない人は住みにくい」と書かれています(写真2左)。

3. ドミニカ共和国 : カタリナ島DXペディション記念 (1980.10.31 発行)

前回紹介した1979年のヘアタ島DXペディションに次ぐドミニカ共和国の2回目のDXペディションの切手です。カタリナ島の形をデザインし、左側には連盟RCDのロゴが印刷されています(写真2右)。



写真2 (左) ボリビアの連盟RCB 38周年記念切手のFDC。
(右) ドミニカ共和国のカタリナ島 DXペディション記念切手のFDC。

4. スイス : USKA 50年記念 (1979.9.6 発行)

スイスの連盟USKA創立50周年を記念して発行された記念切手です。通信衛星オスカー7と電鍵がデザインされていて、スイスで使われているドイツ語、フランス語、イタリア語でアマチュア無線と書かれています(写真3の左)。

5. ソ連 : 第30回アマチュア無線連合展示会記念 (1981.3.12 発行)

モスクワで開かれた展示会の記念切手には、30の文字とアマチュア通信衛星RS-2が描かれています(写真3の右)。



写真3 (左) スイスの連盟USKA創立50周年記念切手のFDC。
(右) ソ連の第30回アマチュア無線連合展示会記念切手のFDC。

6. アルゼンチン : RCA 50年記念 (1980.11.1発行)

アルゼンチンの連盟RCA創立50周年を記念した切手には、八木アンテナから電波伝搬を示す複数の輪をデザインし、アルゼンチンのプリフェックスLUの文字が大きく描かれています (写真4の左)。

7. ジブチ : ジブチ・アマチュア無線クラブ (1981.6.25 発行)

アフリカ東北部とアラビア半島の地図のジブチの位置に、八木アンテナを描き、電鍵を配した大型切手です (写真4の右)。



写真4 (左) アルゼンチンの連盟RCA 50周年記念切手のFDC。(右) ジブチ・アマチュア無線クラブの記念切手のFDC。

8. アセンション : ボーイスカウト75年記念 (1978.2.22 発行)

ボーイスカウト75周年を記念して発行された4種類の切手の内の1種類に、アマチュア無線局 ZD8JAM を運用するスカウト達の姿が描かれています。また、その4種類の切手の形を変えた小型シートも同時に発行されました(写真5)。



写真5 (左) ボーイスカウト75周年記念切手のFDCと、(右) 同 記念切手の小型シートのFDC。

9. チリ : RCC 60年記念 (1982.12.29 発行)

チリの連盟RCCの60周年を記念した切手で、タワーの上にRCCのロゴが描かれています。(写真6の左)。

10. スリランカ : スリランカのアマチュア無線 55年記念 (1983.1.17 発行)

アマチュア無線55周年の記念切手で、連盟RSSLのロゴと新旧のコールサインが描かれています (写真6の右)。



写真6 (左) チリの連盟 RCC 60年記念切手のFDC。(右) スリランカのアマチュア無線 55年記念切手の FDC。

11. コロンビア : LCRA 50年記念 (1983.6.11 発行)

コロンビアのアマチュア無線連盟LCRAの50周年記念切手ですが、10年前の40周年にも発行しています(写真7の左)。

12. ニカラグア : FRACAP '83 開催記念 (1983.10.7 発行)

首都マナグアで開かれた中央アメリカ・アマチュア無線連合(FRACAP)の会合を記念した切手です(写真7の右)。

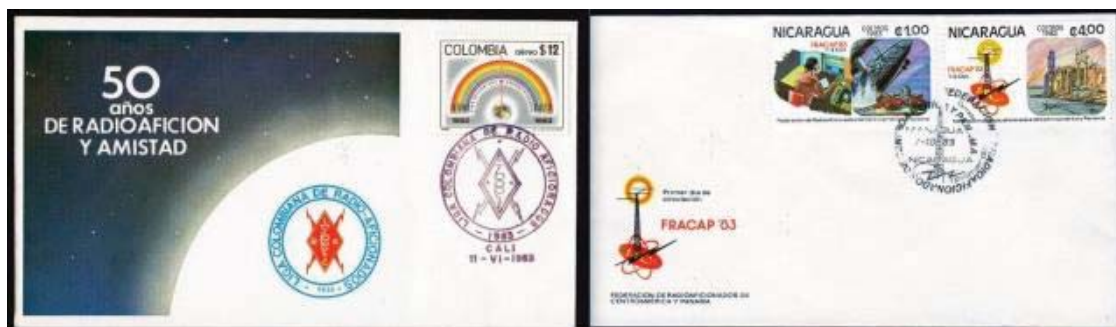


写真7 (左) コロンビアの連盟LCRA 50周年記念切手のFDC。
(右) ニカラグアで開かれたFRACAP '83 開催記念切手のFDC。

13. サンマリノ : 世界コミュニケーション年 (1983.4.28 発行)

世界コミュニケーション年 (WCY) には日本を含む多くの国々が記念切手を発行しましたが、アマチュア無線を題材にした切手はこのサンマリノを含めて2種類だけでした。若いアマチュア無線家が受信している図案です(写真8の左)。

14. ソロモン諸島 : 世界コミュニケーション年 (1983.12.19 発行)

WCYを記念した4種類の切手の内、1種類にアマチュア無線局を運用する様子が描かれています(写真8の右)。



写真8 (左) サンマリノのWCY記念切手のFDC。(右) ソロモン諸島のWCY記念切手のFDC。



J3AER



*** アマチュア無線の切手の初日カバー (その3 最終回) ***

J3AER 荒川泰蔵



1. 悪天候で残念なことに3Y0Zブーベ島DXペディションが中止に。

世界中のDXerが待ち望んだブーベ島DXペディション3Y0Zは、現地の悪天候が伝えられるなか迎えた2月4日の関西ハムシンポジュームの会場で中止の噂が流れ、青木さんがアップデートされているウェブページで確認すると天候の回復が見込めないことに加え、船のエンジンの不調で船長が中止の判断をした様子でした。2016年11月13日のAPDXCの講演で、W0GJ, Glennさんが「A foreboding place ... for sure」と書かれたブーベ島のスライドを見せてくれたことを思い出しました。自然の厳しさを見せつけられた思いで残念ですが、今は全員が無事に帰国されることを祈っています。



写真1 (左) 3Y0Z の寄付に対する感謝状。(右) 3Y0Z について講演するW0GJ, Glennさん (APDXC 2016)。

2. ソ連 : 無線電信チャンピオンシップ記念 (1983.9.1 発行)

モスクワで開かれた第1回欧州杯無線電信選手権大会を記念したもので、大会のロゴとオスタンキンスカヤ・テレビ送信塔をデザインしたグラフィヤ印刷です。アマチュア無線家も参加したことから、この切手を含めています(写真2の左)。

3. ルクセンブルグ : アマチュア無線連盟 RL 50年記念 (1987.3.9 発行)

ルクセンブルグ連盟RL創立50周年を記念して発行された記念切手で、RLのロゴを中心に描いています (写真2の右)。



写真2 (左) ソ連の無線電信チャンピオンシップ記念切手のFDC。
 (右) ルクセンブルグのアマチュア無線連盟 RL 50年記念切手(右側の1枚)のFDC。

4. ペルー : アマチュア無線連盟 RCP の国民への奉仕 - RCP 55年記念 (1985.7.2 発行)

ペルーのアマチュア無線連盟RCPの国民への奉仕に敬意を表し、その55周年を記念して発行されたもので、左に創立年1930の入ったRCPのロゴと、右下には無線連盟のモットー「国と人類への奉仕」が描かれています (写真3の左)。

5. ブルガリア : ブルガリア・アマチュア無線60年記念 (1986.12.6 発行)

ブルガリアのアマチュア無線60周年を記念して発行された切手で、顔に見立てた地球に、60の数字をヘッドフォンにデザインして被せています (写真3の右)。



写真3 (左) ペルーのアマチュア無線連盟 RCP 55年記念切手のFDC。
(右) ブルガリア・アマチュア無線60年記念切手のFDC。

6. オマーン : 王立オマーン・アマチュア無線連盟 ROARS の15年及び25年記念 (1987.12.23及び1997.12.23発行)

オマーンは1987年に、王立オマーン・アマチュア無線連盟創立ROARS15周年を記念した切手を発行し、その僅か10年後の1997年にも同25周年記念の大型切手を発行しました(写真4)。



写真4 王立オマーン・アマチュア無線連盟 ROARS の15年及び25年記念切手のFDC。

7. ニューカレドニア : アマチュア無線連盟 ARANC 25年記念 (1987.1.7 発行)

連盟ARANC創立25周年を記念した切手で、連盟のロゴと記念局のコールサインFK25Aが描かれています(写真5の左)。

8. イスラエル : アマチュア無線連盟 IARC 40年記念 (1987.6.14 発行)

連盟IARC創立40周年を記念して発行された切手で、4Xと4Zのプリフェックスの他、12ヶ国のプリフェックスも描かれています、その中にはJAも含まれています。また、下側のタブにも4Xと4Zのプリフェックスを描いています (写真5の右)。



写真5 (左) ニューカレドニアの ARANC 25年記念切手のFDC。(右) イスラエルの IARC 40年記念切手の FDC。

9. インドネシア : IARU 第3地域会議開催記念 (1991.10.6 発行)

1991年、バンドンで開かれた、IARU第3地域会議記念の切手で、連盟ORARIのロゴが描かれています(写真6の左)。

10. ピトケアン諸島 : アマチュア無線 (1996.9.4 発行)

最初のハムVR6AYとクラブ局VR6PACのコールサインを描いた切手を含む4種類の切手を発行しました(写真6の右)。



写真6日 (左) インドネシアで開かれたIARU 第3地域会議開催記念切手のFDC。

(右) ピトケアン諸島のアマチュア無線を描いた4種類の切手のFDC。

11. ボスニア・ヘルツェゴビナ : ボスニア・ヘルツェゴビナ・アマチュア無線50年記念 (2000.3.15 発行)

1992年にユーゴスラビアから独立した後、通算50年のアマチュア無線の歴史を記念して発行されました(写真7の左)。

12. サンマリノ : IARU 第1地域会議開催記念 (2002.9.19 発行)

2002年11月10日から6日間、サンマリノで開かれた、IARU第1地域会議記念の2種類の切手です(写真7の右)。



写真7 (左) ボスニア・ヘルツェゴビナのアマチュア無線50年記念切手のFDC。

(右) サンマリノで開かれたIARU 第1地域会議開催記念切手のFDC。

13. 仏領南極地域 : トロメリン島 DXペディション記念 (2014.11.6 発行)

我々NDXAも応援したフランス人グループによるDXペディション、FT4TAの成功時に発行された記念切手です(写真8)。



写真8 トロメリン島 DXペディション記念の切手(小型シート)を貼った、初日実遞2種類。左はJP3AYQ眞田さん宛。

以上、私のコレクションにあるFDCの一部を3回にわたり紹介させて頂きましたが、これがアマチュア無線の切手の総てではないことをお断りしておきます。ご愛読有難うございました。 JA3AER 荒川さん